

企業・NPO・市民の パートナーシップミーティング in 鎌倉

～多様な主体の出会いと協働のきっかけづくりの場～

地域での「協働」は、まず他者と「関わること」から始まります。
関わり方はいろいろ。自分だったらどんな関わり方ができるか。対話の中から見つけて
これまでとは少しだけ違う、自らの強みを活かした地域との関わりを始めてみませんか。

- | 日 時 | 11月3日(日) 13:30～17:00 (開場13:00)
- | 会 場 | たまなわ交流センター 第1会議室 (かまくら市民活動フェスティバル会場)
- | 対 象 | ・地域課題を解決するためのパートナーを探している方
・協働・連携しながら地域を活性化することに関心のある方
・地域で自分も力になりたい、今までのキャリアを活かしたいと考えている方
・その他、地域貢献活動など地域との関わりに関心のある学校関係者
- | 定 員 | 30名 (先着順・要申込み)
- | 申込み | メールまたはFAXでお申込みください。(詳しくは裏面をご覧ください)
- | 参加費 | 無料

2019.11.3

セッション「企業・NPO・市民の協働」 13:30～

実践事例の紹介と協働による可能性の広がりについて。
参加者も一緒に、対話を通じて地域への関わり方を探ります。

タリーズコーヒージャパン株式会社 事業開発本部
知久 和男 さん

エンジョイワークス株式会社
佐藤 穂奈美 さん

ワークショップ&シェア 14:30～

参加者同士が協働のイメージや自らのリソースを公開し合うこと
で、新たな関わりやつながりを発見し、具体的な事業の方向性や
進め方、必要なリソースのイメージを固めていきます。

交流会 16:15～

参加者同士の交流タイム。
ワークショップで協働事業や自らの関わり方についてイメージで
きたら、実現のために必要な人やアイデア、知恵を求めたい人を
探してつながります。

ファシリテーター



にとりべ ともや
二藤部 知哉 さん

プロフィール:

競合から協働へ。個人も法人もノウ
ハウもコストも、経験と体験をシエ
アして支えあうコミュニティへ。
2016年から地域課題を共考し魅力
的に美味しく伝える、地酒ならぬ「地
ウェブ」を作る地ウェブ醸造家とし
て地域活動サポートを継続的に行う。
報酬は、美味しいご飯やお酒、困っ
たときに助けてくれる券、空想通貨
など。1975年生まれ
<https://hxcd.work>

昨年生まれたパートナーシップ
事例はこちらから👉



<http://www.pret.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/f6188/>

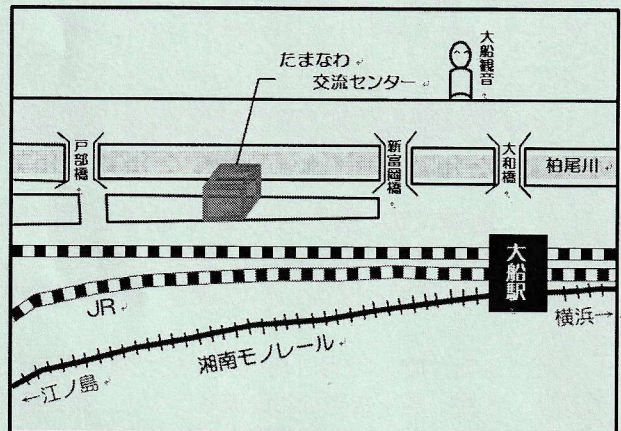
■会場

たまなわ交流センター 第1会議室 (鎌倉市台1-2-25)

JR東海道線・横須賀線・京浜東北線「大船駅」から徒歩3分

■お知らせ

組織・団体のチラシやパンフレット等の配架コーナーを会場に設置します。配架を希望する方は、当日30部ご持参ください。(残った場合は、各自でお持ち帰りいただきます)



■お問合せ

神奈川県 政策局 政策部 NPO協働推進課
電話：045-210-3703

鎌倉市市民活動センター (NPOセンター鎌倉)
電話：0467-60-4555

■申込方法

NPOセンター鎌倉

検索

ホームページからフォームをダウンロードしてご記入のうえ、次のメールアドレスにお送りください。npoc@chive.ocn.ne.jp
または、下欄の申込用紙にご記入のうえ、ファクシミリでお送りください。
10月23日(水)までにお申し込みください。

鎌倉市市民活動センター (NPOセンター鎌倉) 行 [FAX:0467-61-3928]

企業・NPO・市民のパートナーシップミーティングin 鎌倉 参加申込書		
1. 氏名・ふりがな【必須】	2. 所属または団体名【必須】	3. 連絡先(電話または電子メール)【必須】
4. イベント当日、「3. 連絡先」を除く項目を記載した名簿を配布します。名簿掲載の可否についてお知らせください。【必ずどちらかにチェックしてください】		
<input type="checkbox"/> 名簿への掲載可 <input type="checkbox"/> 名簿への掲載不可		
5. このイベントを通じて、実施してみたい協働事業のイメージやアイデア【必須】		
6. あなたが、ともに取り組む相手方に提供できること(ヒト、モノ、カネなどのリソース、自身の強みなど)【任意】		
7. あなたに不足していること。相手方に求めたいこと【任意】		

※5~7の内容は、当日、名簿に掲載して配布します。参加者間の交流促進のため、ぜひご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報等を、パートナーシップ支援事業以外の目的で利用することはありません。